

平成29年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	高瀬英和
	全体計画						経費区分		-		内線	3115
事務事業名	4039 職員互助会助成事業											
所 属	050100 総務部・総務課											
施 策	07024400 市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	020108 総務費・総務管理費・職員厚生費										
	事業	020000 職員互助会助成事業										
事業目的						事業概要・効果						
地方公務員法第42条に基づく職員の保健、その他厚生に関する事項を実施するため、須坂市職員互助会を設置し、職員の福利厚生等の向上を図る。						職員互助会へ負担金を支出し、職員互助会で職員厚生事業、文化活動事業、体育事業等を行った。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
職員互助会へ次の支出を行った。 ①19市職員体育大会参加負担金 ②職員体育活動負担金 ③職員文化活動負担金 ④職員厚生事業負担金	職員互助会へ次の支出を行った。 ①19市職員体育大会参加負担金 ②職員体育活動負担金 ③職員文化活動負担金 ④職員厚生事業負担金
平成29年度 予定	平成30年度 予定
職員互助会へ次の支出を行う。 ①19市職員体育大会参加負担金 ②職員体育活動負担金 ③職員文化活動負担金 ④職員厚生事業負担金	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	インフルエンザ予防接種補助人数の拡大				
算式	インフルエンザ予防接種補助人数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	-	-	-	50
	実績	33			
指標選定の理由	職員の疾病予防の充実のため				
最終年度目標の根拠	25年度補助人数の20%増(25年度会員505人、補助160件)				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		1,519	1,410
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	155	130
一般財源		1,364	1,280
人員数(人)	正規職員	0.3	0.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,165.7	2,887.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,165.7	2,887.6
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		3,684.7	4,297.6

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,519	職員互助会負担金
その他	0	

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,410	職員互助会負担金
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	やや低い
評価コメント	給付事業の執行率が低いため、会員への周知が必要。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	互助会員同士の交流が減るなど、事業規模、数ともに減少している。また特定の会員だけが恩恵を被るなど不平等感がある。会費の減額も含め、総合的な見直しが必要。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	地下食堂の修繕料等の負担割合等基準が不明確なため、全額互助会で補助をしている。事業者負担についても今後検討する必要がある。 積立基金の用途が決まらないままである。特別会計からの繰り出しをしている現状に鑑み、活用方法を検討する必要がある。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
給付事業の利用件数を増加させる。 食堂運営費用補助金のあり方の検討 会費、事業の見直し 職員互助会福利厚生施設整備積立基金の活用方法の検討。

ACTION**1次評価****2次評価**

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>職員間のコミュニケーション向上の観点から福利厚生事業の充実改善は重要であり、併せて懸案の施設整備積立金の適切な運用、処理について研究が必要である。</p>		<p>特定の会員だけが恩恵を被る事業の見直しなど、会費の減額も含め、総合的な見直しが必要。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント